



## 2021年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月13日

上場会社名 リファインバース株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6531 URL https://www.r-inverse.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 越智 晶  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 青木 卓 TEL 03(5643)7890  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年6月期第1四半期の連結業績（2020年7月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第1四半期	563	△16.6	△83	—	△87	—	△86	—
2020年6月期第1四半期	675	5.8	△70	—	△80	—	△81	—

(注) 包括利益 2021年6月期第1四半期 △86百万円 (—%) 2020年6月期第1四半期 △81百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第1四半期	△27.84	—
2020年6月期第1四半期	△26.59	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年6月期第1四半期	2,925	448	15.0	133.39
2020年6月期	2,872	337	11.4	169.01

(参考) 自己資本 2021年6月期第1四半期 440百万円 2020年6月期 327百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年6月期	—	—	—	—	—
2021年6月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年6月期の連結業績予想（2020年7月1日～2021年6月30日）

(%表示は、通期は対前期減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,989	11	102	—	61	—	20	—	6.62

(注) 1 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2 2021年6月期の連結業績予想の1株当たり当期純利益は、新株予約権の行使を含めた予定期中平均株式数により算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期1Q	3,299,950株	2020年6月期	3,049,950株
② 期末自己株式数	2021年6月期1Q	129株	2020年6月期	129株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年6月期1Q	3,115,038株	2020年6月期1Q	3,049,840株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報)	7
(重要な後発事象)	8
(その他)	8
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結会計期間において当社グループは、既存事業で徹底したコスト削減を進めながら、今後の成長の核となる再生樹脂製造販売事業の事業領域の拡大に向けて、持続的な成長のための事業基盤の強化、推進に努めてまいりました。事業領域の拡大に向け、三菱ケミカル株式会社(本社:東京都千代田区、社長:和賀昌之)から廃プラスチックの回収業務を受託するとともに同社を割当先とする第三者割当増資を行っております。また、海洋プラスチックごみ対策を目的に設立された「アライアンス・フォー・ザ・ブルー (ALLIANCE FOR THE BLUE) \*1」へ参画し、他の参画企業との間で商品開発等の協議を進めてまいりました。新型コロナウイルス感染症が終息する見通しは依然として立たず、前第4四半期会計期間における大きな負の影響からは回復する傾向にあるものの、コロナ以前の水準までは回復しないまま推移いたしました。

再生樹脂製造販売事業においては、緊急事態宣言の解除により、建設業界全般として現場作業員の安全面から中止・延期されていた工事が再開し、前第4四半期において減少していたホテルやオフィス等のリニューアル工事で発生する廃タイルカーペットの受入処理量は回復傾向にあります。一方、当社のリサイクル材料の大部分はタイルカーペットをはじめとする床材製品の原料となりますが、これら床材製品の需要はコロナ以前の水準までは回復せず、リサイクル材料の販売量は低調のまま推移しております。

産業廃棄物処理事業においては、緊急事態宣言の解除により中止・延期していた建設工事が再開し、当社グループの受注は回復してきておりますが、コロナ以前と比較すると未だ低い水準で推移しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高563,515千円(前年同期比16.6%減)、営業損失83,436千円(前年同期は営業損失70,692千円)、経常損失87,740千円(前年同期は経常損失80,662千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失86,724千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失81,103千円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 再生樹脂製造販売事業

再生樹脂製造販売事業につきましては、企業の持続可能な開発目標(SDGs)への取り組みの高まりなどから、弊社へのカーペットタイルの処理委託並びに環境対応製品の基礎原料としての再生樹脂原料の需要は根強いものの、新型コロナウイルス感染症による影響は大きく、需要の低迷が継続しております。一方、社会的な海洋ゴミ問題への関心の高まりを受け、当社リサイクルナイロン樹脂「REAMIDE(リアミド)」への引き合いは増加しております。

この結果、売上高は201,098千円(前年同期比11.0%減)となり、セグメント損失は68,270千円(前年同四半期はセグメント損失97,373千円)となりました。

## ② 産業廃棄物処理事業

産業廃棄物処理事業につきましては、マンション等のリフォーム・リノベーション案件において、解体工事から収集運搬・中間処理まで一括受注できる体制と小回りを利かしたサービスにより多くの引き合いを頂いておりますが、新型コロナウイルスの影響による売上の落ち込みが完全には回復せず、売上高、営業利益ともに前年同期比で下回りました。

この結果、売上高は365,010千円(前年同期比19.7%減)となり、セグメント利益は30,279千円(前年同期比68.0%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,030,822千円となり、前連結会計年度末(以下「前年度末」という)と比べ75,364千円増加しております。これは主として受取手形及び売掛金が37,073千円、未収還付法人税等が30,651千円増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は1,859,287千円となり、前年度末と比べ17,257千円減少しております。これは、主として有形固定資産が24,154千円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における繰延資産は35,518千円となり、前年度末と比べ4,511千円減少しております。これは、開業費の償却によるものです。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は723,328千円となり、前年度末と比べ28,954千円増加しております。これは主として未払金が27,488千円増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は1,753,472千円となり、前年度末と比べ86,966千円減少しております。これは、主として長期借入金94,798千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は448,827千円となり、111,607千円増加しております。これは、主として資本金が99,625千円増加、資本剰余金が99,625千円増加、利益剰余金が86,724千円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年6月期の通期の連結業績予想につきましては、2020年8月17日の決算短信で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。なお、新型コロナウイルスによる影響は2021年6月期が終了するまでは継続するものと見込んで連結業績予想を算定しております。

\*1 ALLIANCE FOR THE BLUE

石油化学をはじめ、日用品・飲食品・包装材メーカー・小売・リサイクル等、多業種が連携し、商品開発・共同研究等を促進するため、日本財団が発起人となり設立されたアライアンスです。新たな海洋ごみの発生防止、既に発生した海洋ごみの削減をテーマに、各企業と協働し、商品の企画から流通・製造・消費・処分・再利用といった一連の各過程で一貫した対策を行い、資源循環型社会・サーキュラーエコノミーを実現するモデル構築を目指しています。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	460,770	465,713
受取手形及び売掛金	277,392	314,465
商品及び製品	149,771	143,039
仕掛品	2,057	8,146
原材料及び貯蔵品	41,766	46,979
前払費用	19,992	17,891
未収還付法人税等	—	30,651
その他	5,064	5,288
貸倒引当金	△1,358	△1,352
流動資産合計	955,457	1,030,822
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	946,810	946,810
機械装置及び運搬具	1,111,097	1,115,045
工具、器具及び備品	83,957	84,178
土地	102,100	102,100
リース資産	234,675	259,144
建設仮勘定	13,889	13,917
減価償却累計額	△865,895	△918,715
有形固定資産合計	1,626,635	1,602,480
<b>無形固定資産</b>	14,952	23,258
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	20,000	20,000
繰延税金資産	116,597	116,597
敷金及び保証金	100,491	100,372
その他	9,293	7,983
貸倒引当金	△11,424	△11,404
投資その他の資産合計	234,957	233,548
固定資産合計	1,876,545	1,859,287
<b>繰延資産</b>		
開業費	40,030	35,518
繰延資産合計	40,030	35,518
<b>資産合計</b>	<b>2,872,032</b>	<b>2,925,628</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,496	45,771
短期借入金	75,001	50,002
1年内返済予定の長期借入金	305,272	317,092
リース債務	42,820	45,185
未払金	121,066	148,555
未払費用	63,663	49,942
未払法人税等	9,269	2,308
未払消費税等	34,297	18,746
賞与引当金	—	7,690
その他	5,486	38,033
流動負債合計	694,373	723,328
固定負債		
長期借入金	1,501,298	1,406,500
リース債務	117,987	130,141
繰延税金負債	24,252	23,661
資産除去債務	153,917	154,142
その他	42,983	39,026
固定負債合計	1,840,438	1,753,472
負債合計	2,534,812	2,476,800
純資産の部		
株主資本		
資本金	439,219	538,844
資本剰余金	487,258	586,883
利益剰余金	△598,713	△685,437
自己株式	△142	△142
株主資本合計	327,621	440,147
新株予約権	9,598	8,680
純資産合計	337,220	448,827
負債純資産合計	2,872,032	2,925,628

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
売上高	675,656	563,515
売上原価	560,768	459,885
売上総利益	114,888	103,630
販売費及び一般管理費	185,580	187,066
営業損失(△)	△70,692	△83,436
営業外収益		
受取利息	411	2
助成金収入	—	7,020
その他	170	780
営業外収益合計	581	7,803
営業外費用		
支払利息	6,014	6,925
開業費償却	4,511	4,511
その他	25	669
営業外費用合計	10,551	12,107
経常損失(△)	△80,662	△87,740
特別利益		
新株予約権戻入益	120	1,014
特別利益合計	120	1,014
税金等調整前四半期純損失(△)	△80,542	△86,725
法人税、住民税及び事業税	1,152	589
法人税等調整額	△590	△590
法人税等合計	561	△1
四半期純損失(△)	△81,103	△86,724
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△81,103	△86,724

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△81,103	△86,724
四半期包括利益	△81,103	△86,724
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△81,103	△86,724
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)

当社は、2020年9月7日付で、三菱ケミカル株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本金が99,625千円、資本準備金が99,625千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が538,844千円、資本剰余金が586,883千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	再生樹脂製造販売事業	産業廃棄物処理事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	222,344	453,311	675,656	675,656
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,550	1,027	4,578	4,578
計	225,895	454,339	680,234	680,234
セグメント利益又は損失 (△)	△97,373	94,495	△2,877	△2,877

2. 報告セグメント利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△2,877
セグメント間取引消去	47
未実現利益の調整額	835
全社費用(注)	△68,698
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△70,692

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2020年7月1日至2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	再生樹脂製造販売事業	産業廃棄物処理事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	199,196	364,319	563,515	563,515
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,902	691	2,593	2,593
計	201,098	365,010	566,109	566,109
セグメント利益又は損失 (△)	△68,270	30,279	△37,990	△37,990

## 2. 報告セグメント利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△37,990
セグメント間取引消去	18,038
未実現利益の調整額	△1,088
全社費用(注)	△62,395
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△83,436

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

## (重要な後発事象)

(資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分)

当社は、2020年8月25日及び2020年8月31日開催の取締役会において、資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分について、2020年9月30日開催の第17回定時株主総会に付議することを決議し、同定時株主総会で承認可決され、2020年11月1日にその効力が発生しております。

## 1. 資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分の目的

繰越利益剰余金の欠損を補填し、財務体質の健全化ならびに早期に配当を実現できる体制にするとともに、今後の資本政策の柔軟性及び機動性を確保することを目的とするものであります。

## 2. 資本金及び資本準備金の額の減少の内容

## (1) 減少する資本金の額

資本金の額 538,844,723円のうち、389,219,723円を減少し、149,625,000円といたしました。

## (2) 減少する資本準備金の額

資本準備金の額 538,844,722円のうち、389,219,722円を減少し、149,625,000円といたしました。

## (3) 資本金及び資本準備金の額の減少の方法

払い戻しを行わない無償減資とし、発行済株式総数の変更は行わず、「資本金」及び「資本準備金」の額のみを減少し、その全額を「その他資本剰余金」に振り替えました。

## 3. 剰余金の処分の内容

会社法第452条の規定に基づき、上記の効力が生じた後のその他資本剰余金826,477,812円のうち、785,452,117円を繰越利益剰余金に振り替え、欠損補填に充当いたしました。

(1) 減少する剰余金の項目及びその額 その他資本剰余金 785,452,117円

(2) 増加する剰余金の項目及びその額 繰越利益剰余金 785,452,117円

## (その他)

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

### 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。